我らの浅子校 7がつ

佐世保市立浅子小中学校　学校だより　No１５
平成 27 年 7 月 9 日（木）　校長　三 浦 優 子
〒857-0431 佐世保市浅子町 58 番地　TEL68－2052

〈校　　訓〉感動　自主　忍耐
〈教育目標〉学び合い　認め合い　高め合う子どもの育成
〈学校経営方針〉
小中併設校のよさを生かし、いのちを輝かせる
子どもを育てる浅子校の小中連携

７／８（水）第 2 回避難訓練（地震・津波を想定）～安全・安心な学校をめざして～

避難のきまり
おさない
かけない
しゃべらない
もどらない

【ねらい】・地震や津波に対する認識を深め、避難方法を正しく理解して、災害時に一人一人が冷静かつ迅速に避難できるようにする。（児童・生徒）
・避難経路の確認と地震・津波発生時の安全な誘導のための体制を確立する。（教職員）

【各学級での事前指導】
・放送を最後まで聞く。真剣な態度で参加する。
・避難の際は、何も持たずに上履きのまま外に出る。
・廊下の中央を通る。
・「お・か・し・も」を守る。
　※おさない、かけない、しゃべらない、もどらない

【避難の手順】

緊急放送①より　「地震発生。急いで机の下に入ってください。」
緊急放送②より
「津波の可能性があります。直ちに避難経路 A を通って管理員室前へ避難してください。」
→→児童・生徒は、足元や落下物に注意し、廊下や階段の中央を通って避難しました。

2011. 3. 11 という日を私たち日本人は忘れません。後に東日本大震災と呼ばれるこの日、10 メートルを超える大津波が多くの人々の命を奪い、私たちは津波の恐ろしさを思い知らされました。

海に囲まれた浅子地区においては、津波を想定した避難訓練が必要だと感じます。学校が海抜 12m ですので、もしも津波が来たとしたら、裏山まで逃げる必要があります。万が一の場合には、裏山への避難誘導ができるよう体制を整えています。

講評の最後に、「次の言葉を覚えて帰ってください。」と伝えました。

○　災害は忘れた頃にやって来る
○　備えあれば憂いなし

御家庭でも話題にしてください。

ひまわり里親プロジェクト　順調です

３・４年生「We　❤　Rain」

６年生「図工室から見える風景」

明後日（12：00～16：30 体育文化館５階）少年の主張大会です

本校代表も、プログラム７番で「宝物」と題して発表します（本番に向けて、毎日、昼休みに練習中）。県中総体を控え、何かと忙しいですが、ひとつひとつ大切に取り組んでいます。
よろしかったら応援に来てください。

まるちゃんのひとりごと
←←「校長先生、プレッシャーかけるのは勘弁してくださいよ～。」という誰かの声が聞こえてきそうだね。
　若者よ、大いに青春を謳歌しよう！